

ROTARY SERVING HUMANITY



第2780地区
大磯ロータリークラブ



人類に奉仕するロータリー

2016～2017年度RI会長

ジョン.F.ジャーム

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13

TEL/FAX : 0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30

大磯プリンスホテル

TEL : 0463-61-1111

FAX : 0463-61-6281

会長 百瀬 恵美子

会長エレクト 新宅 文雄

幹事 井上 浩吉

第2400回

例会

平成29年3月2日 No.23

■司会:大藤 勉

■点鐘:百瀬 恵美子

■合唱:君が代・奉仕の理想

◇プログラム

・3月9日：50周年フォーラム(2時間程度)

・3月16日：50周年フォーラム

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
2400回	14(11)	6	54.55%	—	—
2398回	14	14	100.00%	—	—

◇欠席者(4名)

宮澤、原、太田、田中、石山さん

◇メイクアップ(0名)

◇会長報告

寒い日が続きます。皆さんお元気でしょうか？明日はお雛祭りです。女性のお節句です。いくつになっても楽しいお祝いにしたいです。

いよいよ50周年記念が近づいて参りました。皆さんご協力をお願いします。

本日は第2400回例会を記念して皆さんと一緒にイチゴ大福を食べましょう。美味しいですよ!!

この後50周年記念事業について皆さんと話し合いをしたいと思います。

例会終了後理事会を開きます。

◇幹事報告

回覧：

・ガバナー月信クラブ紹介原稿依頼：400字で写真を添えて3月15日(水)必着

・2019年規程審議会立法案提出依頼：決議案：4月10日

百瀬恵美子会長



制定案：7月31日締め切り

- ・水と衛生月間リソースのご案内
- ・2017-18年度地区カレンダー
- ・財団室ニュース

◇委員会報告：

☆スマイルボックス

守屋紀忠さん

・河本親秀さん：キリのよい2400回例会おめでとうございます。

・斎藤好正さん：久しぶりです。よろしくお願ひ致します。

☆河本親秀さん：



原貫太君のアフリカ・ウガンダ活動報告

今年1月初旬からウガンダで活躍しているNPO法人テラ・ルネッサンスでインターンシップとして国際支援活動をしている原貫太君からアフリカ活動報告第4報が送られてきました。

原君が創設したBICP(バングラデシュ国際協力隊)のメンバーがバングラデシュはテロの危険性が高いので、今年3月の渡航をやめて原君のいるアフリカ・ウガンダに

井上浩吉幹事



渡航、難民や少年・少女兵の社会復帰の手助けなどで共に懸命に働いているレポートです。原君が書いた詳細レポートは現地で撮った写真と共に彼のブログでインターネット上に掲載されており、どなたでも読むことができます。3月中頃には帰国し、報告書を纏めるようで、4月中旬以降大磯クラブの例会卓話や第8Gのクラブで報告したいと希望しています。原千明さんの息子さんという身近な青年が全身全霊を捧げて頑張っています。できるだけ支援をして上げたいと思います。皆さんのご協力をお願いします。

原貫太君よりのメール

アフリカでの活動も、残すところ10日となりました。今回の「アフリカ活動報告、現地便り」は、ずっと温めていた*南スーダン難民*に関してです。

現在私が滞在するウガンダ北部には、紛争が続く隣国南スーダンから毎日のように難民が流入しています。これまで調査で5回足を運びましたが、そこで目にする現状は、本当に凄惨なものばかりです。記事にまとめました。ぜひご覧ください。

・「紛争が終わっても母国には戻れない」南スーダン難民の声 日本による人道支援は？

<http://www.kantahara.com/entry/I-cannot-go-back-to-South-Sudan-even-if-war-come-to-an-end>

・「政府軍に夫を拉致された」一家の主を失った南スーダン難民の女性たち

<http://www.kantahara.com/entry/my-husband-was-captured-by-South-Sudanese-government-soldiers>

記事にも書きましたが、現在バングラデシュ国際協力隊の後輩4名がアフリカに来ており、共に南スーダン難民調査に汗を流しています。そして、毎晩ミーティングを重ね、また私一人でも沢山のことを自問自答した結果、今のバングラデシュ国際協力隊をベースに、*NPO法人の立ち上げ*をしようと考えています。

就職や大学院進学など、大学卒業後の進路は様々にあるものの、*今支援を必要としている人に、今できることをしたい*と、現場にいて強く感じます。また、やはり私のようなタイプの間人は、組織の一パートを担うよりは、新しい組織を指揮する側に立った方が、社会に還元できるものが大きいだろうと、考えるに至りました。

詳しい話は帰国後にさせて頂きたく、また河本さまはじめロータリークラブの皆さまにもお力添え頂きたく思いますが、ひとまず今夏に南スーダン難民支援が行える形

を取っていきたいと考えています。

つきましては、帰国後に大磯ロータリークラブ様の卓話を使い、今回のアフリカ渡航の活動報告を行わせて頂けますでしょうか。*4月中旬以降*であれば、基本的にいつでも大丈夫です。

長文失礼いたしました。ご返信お待ちしております。

原貫太

50周年記念事業打ち合わせ

新宅実行委員長作成のメモに基づき下記について意見交換・決定がなされた。

1. 広報：新聞各社、ミニコミ誌、SCNテレビ、大磯町広報
2. 記念品
3. 国府中学校吹奏楽部員へのお礼
4. エクスカーション・ガイドボランティア協会への申し込み等
5. 当日のプログラム作成
 - ・式典プログラム
 - ・祝宴プログラム
 - ・来賓名簿・招待者名簿・会員家族名簿・記念事業：財団・米山寄付目録、青色パトロールカーの写真・キー、感謝状
 - ・アトラクション演者のプロフィールと写真
 - ・吉田邸と庭の写真
6. 大磯RC50年の歩み記録写真のPPT作成
7. 来賓序列
8. 国府中演奏後送り届ける担当者
9. 舞台装飾(看板、横断幕、生け花など)
10. 贈呈花束
11. 親クラブ平塚RCへ記念品
12. 姉妹クラブへの記念品

等について話し合いが行われました。来週の例会後の話し合いで各項目についての担当責任者、費用等について最終決定に持ち込むことを申し合わせて終了しました。

